

本教会へ初めて来られた方々を
心から歓迎いたします。

「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」

教会の働き

- 1(月)さいたま感謝キリスト教会にて、在日韓国キリスト連合会東日本の総会があります。柳師が参加します。覚えてお祈りください。
- 4(木)には女性宣教会役員会があります。
- 7(日)の夕方賛美礼拝の後に教会運営会議があります。
- 主の恵みのうちに、11月23日に行われた本場キムチバザー&コンサートを無事に終えることができました。心から主に感謝いたします。そして何より、この働きを支えてくださった奉仕者の皆さま、聖徒の皆さま一人ひとりのお祈りと献身的な奉仕があったからこそ、主が大きな実を結ばせてくださいました。準備、仕込み、会場設営、受付、調理、片付け、賛美、広報、接待など、見えるところでも見えないところでも仕えてくださった全ての働きに、深く感謝いたします。

聖徒の為に祈りましょう。

- ・コロナとインフルエンザから守られますように。
- ・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
- ・YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんの為に。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々木こずえ執事の家庭など)



「神の御心を知り、
それに従う教会」

使徒の働き 15:22-35

22 そこで、使徒たちと長老たちは、全教会とともに、自分たちの中から人を選んで、パウロとバルナバと一緒にアンティオキアに送ることに決めた。選ばれたのはバルサバと呼ばれるユダとシラスで、兄弟たちの間で指導的な人であった。24 私たちは何も指示していないのに、私たちの中のある者たちが出て行って、いろいろなことを言ってあなたがたを混乱させ、あなたがたの心を動揺させたと聞きました。25 そこで私たちは人を選び、私たちの愛するバルナバとパウロと一緒に、あなたがたのところに送ることを、全会一致で決めました。…

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 柳澄香(賛美リーダ) 熊谷茂美(祈禱)

夕方賛美礼拝 柳澄香(賛美リーダ) 松島スヤンティ(祈禱)

水曜礼拝 北原孝子(司会) 柳澄香(祈禱)

礼拝時間案内

主日礼拝	AM 11:00
夕方賛美礼拝	PM 2:30
教会学校(小学生まで)	AM 9:50~10:30
水曜礼拝	PM 7:00
祈禱会・火・木曜日	PM 8:30~9:30
土曜日	PM 8:00~9:00

神の国とその義を
第一に求める

宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

www.iidahc.com

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)

副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

主日礼拝

AM 11:00~

賛美リード 韓芽唯

（使徒信条）

信仰告白

代表祈禱 高木はつえ

特別賛美 インマヌエル聖歌隊

聖書箇所 使徒の働き 15:22-35

（神の御心を知り、それに従う教会）

メッセージ 柳承吉牧師

賛美 神の家族

祝 禱 柳承吉牧師

夕方賛美礼拝

PM 2:30~

賛美リード 韓芽唯

代表祈禱 鈴木真由美

聖書箇所 ローマ書 5:6-11

（神の愛の確証）

メッセージ 柳 承吉牧師

主の祈り

水曜礼拝

PM 7:00~

司 会 高木はつえ

代表祈禱 韓芽唯

聖書箇所 ローマ書 8:15-17

メッセージ ローマ書 8 章の概略(5) 柳承吉牧師

主の祈り

今週の御言葉

使徒の働き 15:22-35

「神の御心を知り、それに従う教会」

本文は、ユダヤ人信徒と異邦人信徒の間に生じた論争の結論の部分です。この問題は「救いはイエスの恵みだけで十分なのか」「それともイエスの恵みに人間の行いが加わらなければならないのか」という、きわめて重要な問いでした。長い議論の末に、明確な結論に至ります。

「人は、ただ主イエスを信じる信仰によって救われる」という福音の核心です。22 節に「…全教会とともに、人を選んで、パウロとバルナバと一緒にアンティオキアに送ることに決めた。」ここで教会は、何事においても最後の締めくくりを大切にすることを示しています。

しかし私たちはどうでしょうか。どんな働きでも、最後まで責任をもってやり切る人は多くありません。教会の大きな行事の準備で疲れてしまい、どれほど準備が大変でも、最後の仕上げが最も重要なのです。教会の役割も、家庭や職場の責任も同じです。そして信仰生活もまた、主が呼ばれるその日まで走り続けなければなりません。神の御心を求め、最後まで責任をもって歩む私たちでありたいのです。24 節に「私たちは何も指示していないのに、…ある者たちが…、さまざまなことを言って、混乱させ…」アンティオキアを混乱させた人々は、エルサレム教会の正式な派遣を受けていない者たちでした。しかし彼らは自分の考えを教会全体の意見のように語り、大きな混乱を引き起こしました。どれほど献身している人であっても、自分の考えを教会全体の考えだと主張することは、教会を壊す行為です。教会には神が立てられた秩序と職分があります。職分者は自分の権利や名誉のためで

はなく、ただ神の御心に従うために仕える者です。

25-26 節にパウロとバルナバについて「私たちの主イエス・キリストの名のために、いのちをささげている者」さらに全教会が彼らを「愛している」と伝えています。

なんとという大きな励ましでしょう。宣教の最前線にいる者にとって、兄弟姉妹の励ましと支えほど力になるものではありません。私たちも、互いを励まし合う教会でありたいと願います。28 節に、「聖霊と私たちは…と決めました」と表現します。これは初代教会の決定が、聖霊の導きと人間の従順の協働(協同)によって生まれたという意味です。いかに人間が真剣でも、聖霊の導きがなければ誤った結論になります。そして、聖霊が働かれても、人が従わなければ身を結びません。だからこそ、私たちは聖霊を悲しませてはならず(エペソ 4:30)御霊を消してはならない(Ⅰテサロニケ 5:19)のです。旧約の祭司が、夜から朝まで灯を絶やさなかったように(出 27:21)、私たちも自分の内にある聖霊の火を消してはなりません。

教会に聖霊の火が弱くなったのは、聖霊の側に問題があるからではありません。私たちが耳を閉じてしまったからです。今こそ、再び聖霊の導きに自らを置くべきです。

初代教会の指導者たちは、イエスに直接学び、聖霊に満たされていました。しかし彼らもなお、与えられた出来事を通して神の御心を少しずつ学び、少しずつ理解していったのです。だからこそ、毎日みことばに向かい、祈り、聖霊の導きを求めるのです。信仰が成熟するほど、人はますます謙遜になります。謙遜とは努力して得る性質ではなく、神の御心を知り、従う生活の中で実る実です。

今日からさらに、神の御心を知ろうと努め、その御心に従って生きる歩みを始めましょう。